

南あわじ市 平成 20 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(事業 委託 補助用)

I 基本事項

		整理番号	468
事業名	高齢者インフルエンザ予防接種	予算科目	会計 一般会計・1 款 衛生費・4款 項 保健衛生費・1項 目 予防費・2目
担当部課名	健康福祉部 健康課		
電話	0799 - 44 -3004		
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input type="checkbox"/> 任意的(自治)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)	予防接種法施行令第1条の2
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	安らぎづくり__元気あふれ__住んで快適なまちづくり__	
	まちづくりの目標	延ばせ健康寿命__〔健康〕	
	施策目標	健康増進や予防などに関する意識を高め、信頼性の高い医療・救急医療が受けられる仕組みを整える	
該当する事業について「 」を選択		施策的事業	業務委託 負担金補助

II Plan (計画、事業内容、事業背景)

事業概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人に) 接種の対象者は、65歳以上の高齢者、及び60歳以上65歳未満であって心臓、腎臓もしくは呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に障害を有し厚生労働省令で定められた者 対象人数(人) 14,000 意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防するために予防接種を行い、公衆衛生の向上及び増進に寄与するとともに、予防接種による健康被害の迅速な救済を図ることを目的とする。
	実施内容	(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか) 10月初旬に事業内容のチラシを新聞折込し(広報等にも掲載)、対象者の方に事業の周知を行い、10月～12月に対象者の方が委託医療機関で個別に予防接種を受ける。 (対象者自己負担1,000円)
	背景	(どのような現状・課題・要望によって事業が実施されるに至ったか、他の自治体の動向など) インフルエンザの流行が始まると、短期間に小児から高齢者まで多数の人を巻き込み、特に高齢者や慢性疾患患者の死亡率が普段より高くなることから、それらを予防することを目的とする。
	事業実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 民間・その他 ()
	事業期間	<input type="checkbox"/> 平成 年度 ~ 平成 年度 <input type="checkbox"/> 設定なし
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯) <input checked="" type="checkbox"/> 旧緑町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧西淡町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧三原町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から	

Ⅲ Do (事業活動・成果、投入資源・コスト)

「実施内容」により得られる活動結果指標 (アウトプット)	指標名	予防接種者数				指標単位 人
	指標説明 (指標算出方法等)	予防接種者数				
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
	目標値	13,973	14,000	14,100	14,200	
	実績値	8,134	8,879	9,231		
	達成度 (%)	58.2	63.4	65.5	-	
	目標値設定の考え方	65歳以上の対象者全員				
アウトプットにより達成される「目的」に対する事業の成果指標 (アウトカム)	指標名	予防接種率				指標単位 パーセント
	指標説明 (指標算出方法等)	予防接種者数：65歳以上の高齢者及び60歳以上65歳未満であって心臓、腎臓もしくは呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に障害を有し厚生労働省令で定められた者				
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
	目標値	80	80	80	80	
	実績値	58	63	65		
	達成度 (%)	72.5	78.8	81.3	-	
	目標値設定の考え方	インフルエンザの流行を防止していく。				
資源配分 (インプット)			平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
	直接事業費 (千円)		21,310	23,037	23,476	24,761
	需用費(印刷製本費)		59	154	282	282
	役務費(折込手数料)		56	58	64	64
	業務委託料(予防接種医師委託料)		21,195	22,825	23,130	24,415
	財源 (千円)					
	国					
	県					
	起債					
	その他					
	一般財源[A]		21,310	23,037	23,476	24,761
	人件費(正規職員)[B] (千円)		0	0	0	0
	平均人件費(1日当り)		30.7	29.9	30.1	30.1
	事業量1(事業に要した日数)					
	事業量2(事業に要した人数)					
	年間経費([A]+[B])		21,310	23,037	23,476	24,761
	「目的」対象人数1人当り経費 (千円)		1.5	1.6	1.7	1.8
受益者人数(8,879)1人当り経費(千円)		2.4	2.6	2.6	2.8	
経費に関する補足説明	18年度は、予診票を保健センターに11月末までに取りに来てもらい12月末まで予防接種をしていたが、19年度は、南あわじ市の医療機関で接種する場合、医療機関に予診票を置いてあるので、予防接種がしやすかったこと等により予防接種者数が増加した。					

IV Check (事業の自己評価・一次評価)

	単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
達成度	活動結果指標目標達成度	%	58.2	63.4	65.5	-
	(アウトプットの達成度分析、問題点・課題などを記入。) インフルエンザの予防接種では接種を受ける法律上の義務はなく、かつ、自らの意思で接種を希望する場合のみ接種を行うことから、市民一人ひとりが個人の健康を高め、感染防止に取り組んでいく必要がある。					(5点評価) 3
有効性	成果指標目標達成度	%	72.5	78.8	81.3	-
	成果向上率	%	-	8.9	2.5	-
	(事業実施による目的に対しての有効性分析、問題点・課題などを記入。) 予防接種を行うことにより高齢者の発病予防や重症化予防につながり、また地域でのインフルエンザの流行を鎮静化させることにより、高齢者以外の世代の発症予防にもつながると思われる。事業の成果は、得られている。					(5点評価) 4
効率性	活動実績1単位当り経費	千円	2.6	2.6	2.5	-
	効率性増減率	%	-	1.0	2.0	-
	(効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。) 予防接種を受けてからインフルエンザに対する抵抗力がつくまで2週間程度かかり、その効果が十分に持続する期間は5ヶ月とされている。より効率的に有効性を高めるためには、毎年インフルエンザが流行する前の12月上旬までに接種を受けておくことが必要である。					(5点評価) 3
必要性	公共性の高低	<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低		
	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) インフルエンザの流行が始まると、短期間に小児から高齢者まで膨大な数の人を巻き込み特に高齢者や慢性疾患患者で死亡率が普段より高くなる。					(5点評価) 4
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 接種の努力義務を課さない勧奨接種であるので、対象者に対し啓発や医療機関との連携を図りながら接種向上を図っていく。					<div data-bbox="821 1541 1388 2116"> <p>評価グラフ</p> </div>

V Action&Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成21年度にできる改善・改革	平成22年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し
	<p>インフルエンザの流行が始まると、短期間に小児から高齢者まで多数の人に感染する恐れがあり、また、高齢者の死亡率は、普段より高くなることから、インフルエンザを予防するためには、当事業は必要である。</p> <p>また、予防接種の必要性・効果等の周知の徹底を図るとともに手洗い、うがい、咳エチケットなどの予防接種以外の予防方法の情報提供を行う。</p>	同左
(現状維持以外の改善方法)		
改善によって期待される効果	効果(アウトカム)面	効果(アウトカム)面
	コスト面	コスト面
(現状維持の場合も記入)	<p>仮に事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面)</p> <p>予防接種の自己負担が増え、それによる未接種者の増加によりインフルエンザの蔓延が予想される。</p>	